

3年ぶりの『七夕（たなばた）の会』 （旧教職員の会）

毎年1年に1度、7月7日に行われていた遺愛旧教職員の「七夕の会」が、コロナのために2年間中止でしたが、今年3年ぶりにホワイトハウス（旧宣教師館）で開催されました。15人の先生方が出席して下さいました。

最高齢は90歳で、平均年齢は70代後半だと思います。皆さんお元気で、いつも遺愛のことを気にして下さい、とても有難く感じました。

最初に『明治の学舎』（25年くらい前に写真家・浅井慎平氏が遺愛を訪問し、遺愛の歩み、本館、ホワイトハウスの建物内を紹介しているTBSが制作した15分間のビデオです。）を見ていただき、勤務されていた頃を懐かしんでいただきました。

次に、パワーポイントで遺愛の近況（在籍状況、進路状況、部活動の活躍、在校生・卒業生の様子）を報告しましたところ、遺愛の現役の生徒の皆さんの大活躍をととても喜んでいました。

その後は、各先生の近況報告でした。皆さん元気で活動されているようでしたが、共通の話題は、自動車免許返納のことでした。そろそろと思いつつも、返納してしまうことで行動範囲がいっぺんで狭まってしまうことへの不安感を話される方が多くいらっしゃいました。また、遺愛で定年まで勤務できたことをとても感謝されていました。「日々、大変なことはたくさんありましたが、子育てと両立させながら勤め上げることができたのは、遺愛のおかげでした」と語る女性の先生が少なくありませんでした。また、そのような遺愛であり続けてほしいと念を押されました。

久しぶりの会で高齢化も進んでいるため、何人の先生方が出席されるか心配でしたが、予想以上に来ていただき、感謝でした。

2022年7月9日

上： 伏木田先生、増田先生、出川先生、児玉先生、作山先生、中間先生、町田先生、坂田先生



下： 埴山先生、長谷先生、寺田先生、金石先生、福島、肥田野先生、吉野先生